



宇 出津曳山祭は4月18、19日の両日行われました。木遣り唄が響く中、豪華な人形に飾られた高さ約6m、幅8mで扇形の曳山が酒垂、白山の両神社から曳きだされました。今年の人形は酒垂が「風神雷神」、白山が「弁慶の立ち往生」です。人形は

各神社の氏子が数カ月を費やして完成させた自信作です。曳山の車輪は直径1メートルもあり、はしごを立て、大人の手を借りながら子どもたちが乗り込みました。人形の回りに陣取った子どもたちは、普段見るよりも高い、特別な眺めを楽しみました。

街に春呼ぶ木遣り唄

宇出津曳山祭



わたしも着物で参加。「チヨーサーヤ」。



梶川橋で合流した酒垂、白山の両曳山



子どもたちの「特等席」。笑顔がこぼれる。



息をそろえて方向転換。力が入る。



「朝山」で休憩する（左から）酒垂、白山の曳山。

祭

り2日目の19日、午前2時から白山方の山車が動き出しました。「朝山」と呼ばれる早朝の運行です。酒垂神社の御旅所まで、酒垂方の曳山を迎えに行きます。

前日とは違い、冷たい風が吹く寒い朝になりました。眠い目をこすりながら祭りに参加する子どもたちも冬の装いでした。それでも、大人の威勢の良い木遣り唄を聞きながら、祭りの雰囲気を楽しんでいるようでした。

午後2時からはクライマックス「本山」です。何とか持ちこたえていた天気も、あいにく昼過ぎから雨模様となり、曳山にブルーシートで屋根が設けられました。白山神社前から運行を開始した2台の山車は町中を巡り、午後5時近くに役場能都庁舎前に到着しました。役場玄関前では女性で構成される太鼓グループ「鼓友」による太鼓が披露されました。冷たい雨をものともせず、多くの人が演奏に聞き入りました。

踊り歌で町を一体に

能登の歌「能登国七海の舞」完成

町民企画の合併10周年記念事業第一弾は、町民の融和を目指す踊り歌の製作です。地区の有志により構成する推進委員会が13年前から交流を続けている今村克彦さんのダンスグループ「関西京都今村組」に作詞作曲を依頼しました。

4月5日に役場能都庁舎でお披露目会「能登は一つ」が開かれました。今村組メンバー約30人が「能登国七海の舞」を披露したほか、地元の弥栄太鼓保存会、能登小木港スマイルプロジェクト、こどもみらいセンターやつちや連、日本航空高校石川ダンス部がステージを飾り、300人の観客を魅了しました。



今村克彦さん



熱演を見せる関西京都今村組のメンバー

踊り歌の歌詞は今村克彦さんと息子・翔吾さんが作詞しました。歌詞には江戸時代の農民一揆が歌われています。江戸時代の宝暦年間に、愛すべき家族を守るため、一揆の責任を背負って入牢しています。

推進委員会の委員長を務める今井藤吉郎さんが目指したのは町の融和です。能登町が1つになることを目指し、歌の作成を今村さんに依頼しましたが、文語調のため、第一印象は少し難しいと感じましたが、鉢伏山や九十九湾などが織り込まれ、素晴らしい歌詞だと思います。



「能登は一つ」推進委員会委員長 今井藤吉郎さん

能登町が1つになることを目指し、歌の作成を今村さんに依頼しましたが、文語調のため、第一印象は少し難しいと感じましたが、鉢伏山や九十九湾などが織り込まれ、素晴らしい歌詞だと思います。

クレジット決済でより便利に「ふるさと納税」

「ふるさと能登町応援寄附」(ふるさと納税)は、生まれ育ったふるさとに貢献したい、関わりが深い地域を応援したい、という熱い思いを実現するため、自らの意思で納税先を寄附という行為によって選択できるものです。

返礼品が充実！手続きも簡単に！

今年度からは、ご寄附いただいた方への返礼品について、寄附者自身が返礼品を選択することができるよう、専用カタログを制作しました。品数も豊富で、

能登町自慢の特産品が勢ぞろいしています。

「クレジット決済」を新たに導入し、インターネット上からも手軽にお手続きが可能となりました。

町出身者や町と縁がある親類・ご友人などにも声をかけていただき、皆さんでふるさと能登町を応援してください。

インターネットからのお申込み、お手続きは町ホームページもしくは、「ふるさとチョイス」内の能登町ページをご覧ください。

問い合わせ・情報提供 ふるさと振興課 ☎ 62-8532

平成26年度の寄付はこのような施策に活用しました

循環型社会の構築と地球温暖化防止に向けた施策

住宅用太陽光発電システム設置補助

能登海洋深層水の利活用を推進するための施策

県内外でのPR活動(出向宣伝)、能登海洋深層水施設「あくあす能登」修繕

国指定史跡である真脇遺跡の保存・整備

真脇遺跡整備に伴う発掘調査及び遺跡公園の維持管理

地域文化を継承していくための施策

町内全中学生による、久田和紙を使用した手すき卒業証書作り

その他町長が必要と認める施策

町花「のとキリシマツツジ」PR事業、防災備蓄品の整備、テニスによる町づくり推進事業など



姉妹都市・宮崎県小林市とふるさと納税事業で交流

町は姉妹都市である宮崎県小林市と、ふるさと納税の寄附拡大をめざして協定を締結しました。寄附者への返礼品リストに能登杜氏の酒や小木港のベニズワイガニなどの能登の恵みと、マンゴーやメロンなどの小林市の特産を組み合わせた「姉妹都市セット」を導入します。

姉妹都市の強みを生かした魅力的な商品の提供によって、制度利用者の増加を目指します。



特産品を手にする持木町長(左)と肥後正弘小林市長(小林市にて)

合併10周年記念事業

ご当地グルメグランプリ2015



開催日時 9月13日⑩ 10時30分

会場 宇出津地内

出展料 無料

条件 能登町の食材を一つ以上使用し、

出展者募集

一食500円以内で販売すること

応募締切 6月30日⑩

主催 能登興隆会

☎ 090-8968-2365 番谷